

科目区分	専門教育科目	科目名	プログラミング		科目コード	18L350	担当者	森 弘行			
対象学生	ビジネス・医療秘書コース 2年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		選択			
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
プログラミング言語の働きを知り、作成手順を理解する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	プログラムが完成するプロセスを知る										
2.	各種アプリケーションの各種機能とプログラムの関係を知る										
3.	アルゴリズムを理解する										
4.								◎	◎		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（70%） 受講態度（30%）					
Scratchによるアルゴリズム学習とExcel VBAによるプログラミング演習											
準備学修						課題等への対応					
内容は継続性があるので、必ず前回授業の復習をしておく。プログラムは言葉ですので、使わないと忘れます。自分で問題を見つけて利用すること。（予習・復習3時間/週程度）						課題の進捗に応じて対応					
授業計画											
第1回	Scratchによるプログラミングの1歩				第16回	例題プログラムの作成					
第2回	プログラムの基本構造				第17回	例題プログラムの作成					
第3回	プログラムの基本構造				第18回	例題プログラムの作成					
第4回	マクロとは				第19回	例題プログラムの作成					
第5回	マクロの作り方				第20回	例題プログラムの作成					
第6回	変数				第21回	グラフの作成					
第7回	条件分岐				第22回	フォームの作成					
第8回	反復処理				第23回	ユーザー定義関数					
第9回	Excelのセルを操作してみる				第24回	ユーザー定義関数					
第10回	シートやブックを操作する				第25回	例題プログラムの作成					
第11回	オブジェクトとプロパティ				第26回	例題プログラムの作成					
第12回	関数の活用				第27回	自由課題					
第13回	配列				第28回	自由課題					
第14回	ローカル変数とグローバル変数				第29回	自由課題					
第15回	イベント処理				第30回	自由課題					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	Excel VBA入門レベルの参考図書を使用予定				受講生へのメッセージ	プログラミングは問題意識を持つことから始まります。そして、失敗をしながら習得していきます。また、うまく動作したときの喜びを忘れないように。					
参考書等	なし										